

IRONMAN KOREA Jeju July 3,2011

Kazuo Kaneda

今回の韓国チェジュの旅は、初めてのアイアンマンレースでまた、海外レースも初体験。去年の初ロングで気を良くして今年も1回出てみたいが宮古島、五島は、出張が入った為に、アイアンマンチェジュに決めたのであった。

コリアといえば、常連の大石さんが経験豊富なので一緒にツアーで帯同させて頂いた。

7/1 (金) : 移動日

前日福岡の出張から戻って、準備をして寝たのが3時、慌しく準備して家を出発。マンションから羽田空港行きの空港バス乗り場まで約10分バイクをごろごろ押して行く。SCICONのバイクケースは収納も楽で早く移動も楽、ディープホイールを我慢した甲斐があったようだ。

羽田空港では、チェックインで結構時間を要した。アジアナ航空のセキュリティマシーンにバイクが通らない為、中をあけてウエットやシューズ類を個別でセキュリティ通したりされ、厳しかったからだ。タイヤの空気も完全に抜いてくれと言われたがこれは、芝居のみでパスした。大石さんとウオンへ外貨交換し、新しい羽田空港内を散策し、飛行機を待った。



約2時間でトランジットの金浦空港に着くが、一応国際線なので機内食も出た。金浦空港では、一旦バイクを受け取って、他のツアー参加者約20名と共に国内線に乗り継ぐ為に、空港内のシャトルバスにバイクを持って移動。面倒だが、グッドウィルツアーの現地おばちゃんが案内、チェックインしてくれるので心強い。(復路の荷物は、金浦では積み替え不要で羽田受け取りだった。)国内線のセキュリティも厳しく、コリアンエアの大型セキュリティマシンを借りて、パスできなかった人は、また中身をあけて確認される。こちらは、更に厳しく結局大石さんは、オイルを没収された様だ。金浦ーチェジュは約50分のフライトであつという間に到着した。チェジュ空港からはバイクは別便トラックでホテル直行で我々は、バスで会場の選手登録の受付まで直行だ、ホテルがある“中文リゾート”内で、バイクゴールとランスタート/ゴールになるところでもある。選手登録は混雑してると思いきや空いていて直ぐに完了できた。夕方、チェックイン後すぐにカーボパーティに参加した。前評判通り食事は、洋食バイキングで美味しく、セレモニーを見ながら、お腹一杯食べれた。すぐに食べ物がなくなる今までの参加した大会と違ってゆっくり自分の席で、好きなだけ食べれるのは快適であった。

7/2 (土) : レース前日

朝7時出発のバスに乗って、スイム会場に行って試泳、この後もコース下見、バイク預託、ルール説明と結構忙しかった。バイク、ラングッツも同時に預託なので忘れ物がないか入念にチェックした。

夜ご飯は隣のロッテホテルの韓国料理店で、ビビンバ定食を食べた。韓国スタイルの小鉢が6皿ついて結構、リーズナブルである。ついてきたスープが事のほか辛くて頭皮から汗かきながら完食したが、美味しかった、レース前日に腹ごしらえできてよかった。ホテルに帰った後は、最後のチェックしてレース本番に備えて9時には就寝。



7/3 (日) : レース当日

ホテル、4時50分バス出発なので、3時半に起床して、朝ごはん。韓国のコンビニのお握りなどは怖いので、日本から持参した、カップめん+パンなどを食べる。スイム会場に着く頃には、空も明るくなり、曇り模様で気温も寒くもなく暑くもなくレース日和である。バイク準備の際に、安茂さんとも挨拶し完走を約束して、スイムのスタートを待つ事にする。



900m+100m+1000mの三角形のコースを2周回という事で、スイムが弱点の私にとっては、厳しい距離である。最初からバトルは避けないと完泳難しいのでアウト側をコースロープと並行に泳ぐ戦法をとった。コースロープ沿いはやはり密集しているが、アウト側はなんとか自分のペースで泳げる。折り返しのブイのあたりはさすがに混雑しているがなんとか、呼吸の乱れもなく、快調だ。沖のほうは船のドックも近くにあり、若干油臭い。

やっと1周して一旦、砂浜に上がり、やっと一息、まだあと1周もあるのかと思うと期が思いが、給水して気合を入れる。2周目もバトルを回避して無事、完泳!!海の水は宮古島ほどエメラルドブルーではないが比較的綺麗だった。ただ、水が冷たい事もあって手、足が痺んで、トランジットに時間を要した。

スイムアップ 1時間 26分、(自分の目標というか感覚は1時間 20分だった。)

バイクはスイム会場からはすぐ上りでしばらく行くと片側3車線のメイン道路に合流する。少しスピードアップするがなだらかなアップダウンが続く。1周 90Kのコースを2周回するが1周目は様子見で抑え気味に行く。この後のランの事も考え、早め早めに補給しようとパワージェルやパワーバーを消化していく。エイドでは、飲み口をあけた500ml ペットボトルの受け渡しでボトルへの継ぎ足しもあるので、場所を選びながら補給する。あとトイレの場所がわかりずらくタイミングが難しい。

交差点は警察とスタッフで交通整理はされているが、危ない場面もあったが韓国選手ばかりに声を出して危険をお知らせする。周りの韓国選手は全体的に登りが弱いので登りで抜いて、平地&下りで抜いて行かれるというパターンで周りの人と顔見知りも出来たりした。(片言の英語と一方的な韓国語)

結局、目標タイムを30分オーバーして6時間半でバイク終了した。(練習不足だ。)

ランのトランジションでは違う人のバックが2、3個かけてあって、自分のものを探すのに少々タイムロス、落ち着いて濡れた靴下を履き替えて、気分一新でランスタートする。こちらもバイクコースより更にアップダウンの激しいコースで、ほとんど平坦な場所がないほどで足にダメージが出てくる。

エイドでは、期待を裏切り、コーラ、ゲーターレード、水の飲み物とバナナだけで、補給が苦しかった。バイクで結構食べたつもりが所詮、ジェル類だったからか?コーラとバナナで食いつなぐしかなくスペシャルエイドを準備しなかった事を後悔した。

韓国版エアサロンパスが置いてあったので、毎回スプレーして弱った足に湯を入れる。ワールドカップスタジアム往復の2周回コースだが、先の坂まで見通せる大きな道なので精神的にも疲れた。しかし、歩かず目標の4時間半を少し超えたがまずまずだろう。こちらの日没が20時頃で丁度その頃、19時45分に無事ゴール!!ゴールはアイアンマン独特のMCでにぎやかだった。

ランの周回で位置を確認し安茂さんは私より1時間以上早く、大石さんは私から1時間あとくらいという感じだった。バイク引き取って、ホテルに帰ってシャワーをあび、コンビニでご褒美の缶ビールを2本買い込んで、にぎやかなゴールで大石さんを待つ。午後9時半を過ぎても大石さんの姿が見えないので見過ごしたかなと心配になった頃に大石さんも笑顔で無事ゴールされた。ゴール後、韓国黒豚焼肉を目一杯食べるつもりが、胃腸が弱った2人は注文した肉を半分以上焼き残してしまった。食後、制限時間17時間のゴールを見に行ったが、華やかエンディングで1日の幕を閉じた。

7/4 (月) : レース翌日

大石さんは7/5 帰国予定で、私は今日の夕方便で一足、帰国で午後の出発まで時間があるのでアイアンマンハワイへのレジストレーションとロールダウンを隣のロッテホテルへ見に行く。スロット獲得した人は、1人ずつ\$650を即金で支払い、書類へサインしていたがやはり日本人が多かった。その姿を羨望の眼差しで眺めていた。



今回は、とにかく初アイアンマンの自分としては、無事完走でき、美味しい食べ物も味わえチェジュも満喫できた大会であった。来年、アイアンマンディスタンス参加できれば、バイク6時間以内、ラン4時間以内を、スイムは、無理かな？という事で12時間切りを目標としたい。

P S : 韓国のホテルはアメニティグッズが部屋に置いてあるが、エコの為？有料であった。自分も持ってはいたが、普通に部屋にあったシャンプー歯ブラシ使ってしまいチェックアウトで請求された。(大石さん、ご面倒おかけしました。)

<ホームページのResult から抜粋>

Cat	Race#	Full Name	Nationality	swim-R	bike-R	run-R	TOTAL-R
M 45-49	606	Yoshihiro AMMO	Japan	1:09:16	6:31:45	3:39:57	11:29:33
M 60-64	778	Kazutoshi OISHI	Japan	1:21:19	7:09:35	6:00:22	14:45:04
M 45-49	571	Kazuo KANEDA	Japan	1:26:49	6:28:51	4:37:57	12:45:08

以上